

霧ヶ浜部屋の若佐、若柱が入幕直前の番付に上がって来て勝負の場所になっていくが、ここまでは一進一退の成績。若巨に続けと親方が発破をかけていて、ここから入幕に向けての正念場となる。



若 佐○(寄り切り)●鹿富士

新十両の西安は軽量が春日根親方の不安材料だったが、ここまではそのハンデを感じさせない相撲で親方を安心させている。「とにかく勝ち越してもいい！」という親方の思いに応えられるか。

千代鈴が入幕して本命視される力士が不在の中、果たして誰が優勝するのか最後まで予想が難しそうだ。(錦風)

### 香具山親方、今場所こそ

今場所の注目は、友砂親方期待の暫、2場所連続優勝を狙う剣将、夢力に続く関取を目指す香具山部屋の豊田、花形、黒田、一氣に3人が新幕下に昇進した春日根部屋の西の富士、西神門、西渡海、磯光柁で初土俵を踏んだ磯雷光といったところ。

暫は十両から陥落した西勢ノ里に不用意に掘って黒星スタートになったが、最終的には勝ち越して新十両を手中にするのではないか。

安定感のある相撲をみせたのが剣将。優勝候補の筆頭だろう。剣将の対抗馬は春日根部屋の新幕下の3人か。また、香具山部屋の豊田、黒田も虎視眈々と優勝を狙っている。



暫 ●(寄り切り)○西勢里

### 三段目ノ序の口

育成会も初日が開催され、三段目は今場所も昇進を懸けた激しい争いが展開されそう。三段目は先場所二枚目で3勝を上げながら昇進に手が届かなかった大疾風が東筆頭に



磯雷光○(寄り切り)●大獅子

未知数なのが磯雷光。初日に白星を上げて「なんかやってくれそうだし」と磯ノ海親方に期待を抱かせた。将来を嘱望される若手が多く、優勝を手中にするのは誰になるのか楽しみは尽きない。(錦風)



黒 田○(寄り倒し)●響 竜



英乃濱●(寄り切り)○西富士



西渡海○(寄り倒し)●江戸若



剣 将○(寄り切り)●鉄ノ里

二枚目の鶴ノ里は幕下の壁に跳ね返され、場所での陥落を余儀なくされたが、同じく昇進をかけた榎塚を難く寄り切りで下し再復帰を果たしたところだ。

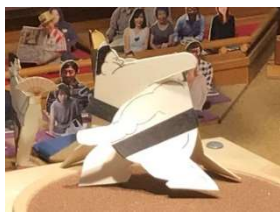


戸 田○(寄り切り)●若武田

ちこめば一気の幕下昇進の可能性も出てきそう。二日目以降にも注目だ。

他には鹿牛田、綱豊、若今津などが初日を飾った。今場所も本命不在で誰が優勝を勝ち取るのか、千秋楽まで熾烈な熱戦が繰り広げられそう。

序二段では西二枚目の巨鵬が優勝候補の筆頭だ。今場所、郡山から改名し更なる高みを目指すべく命名された。下の名も卯太郎とい、昭和時代最強に例えられた 巨人、大鵬、卵焼きをひとまとめにしたこれ以上ない四股名である。鹿電馬との一番は危なげなく寄り切りに下し順調



鹿電馬●(寄り切り)○巨 鵬



鶴ノ里○(寄り切り)●榎 塚



三 国○(押し倒し)●大疾風

なスタートを切り、友砂親方のテンションも日増しに大きくなっていきそう。付出しでは田子龍、安村、榎ノ橋の3人が初土俵を踏み、榎ノ橋が白星発進とした。

序の口は、今場所4人の麒麟が名を連ねた。申し合わせたかのように麒麟、鹿麒麟、虎麒麟、珠麒麟の面々だが、このうち鹿麒麟は敗れたものの他の麒麟は白星発進。今場所も華彪炎と凱熊丸の2力士を送り込んできた播磨屋部屋。「毎回味な四股名を考えるよね」と各親方も唸るところだが、相撲ではともに初日を飾ることは出ず来ずに黒星スタート。今場所こそは何とか勝ち越して親方を安心させたいところ。

錦風部屋からは逆起と磐若。こちらも「いい四股名なんだけどね」と鹿賀乃戸審判長も絶賛するのだが、これまでも初代、二代目と在籍したものも育成会を突破出来ず今回は満を持しての再挑戦となった。その甲斐もあってか2人とも初日に勝って親方を喜ばせた。特に、逆起は力強い取り口を見せ二日目以降も期待が持てそうな感じだ。



桃玄葉●(寄り切り)○磐 若



大 神●(寄り切り)○虎麒麟

松ヶ神部屋の吉葉海は兼房に攻勢を許したが、土俵際の起死回生の上手投げを放って逆転勝ち。他には金谷、岡田、大山も勝って好スタートとした。今場所もまずほどの力士も勝ち越しを目指しての戦いとなる。果たして麒麟は来るのか、予想はつきそうにないところだ。(勝間田)

